

いつもと違う視点から 絵画を楽しみませんか。

所蔵作品約60点により、絵画にみられるさまざまな「素材と技法」を紐ときながら、画家たちの制作の工夫やこだわりをご覧いただきます。さらに、筆や絵具などの画材もあわせて展示し、絵画技法のひみつにもせまります。絵に残された筆あとから、みえなかつたものがみえてくるかも!?

このガイドは、アートへの入口です。メナード美術館にきて、ガイドをみながら展示室をめぐりましょう。実際に作品をみて、はっけんしたことや感動したことを、ぜひ ■ に書きとめてお持ち帰りください。

うら面の鑑賞記念「みてねこスタンプ」もお忘れなく!



「素材」とは絵を描くもとなる材料のこと
「技法」とは絵を描くために画家がつくり出した方法です



みてねこといく!
にや~go!



フィンセント・ファン・ゴッホ《一日の終り(ミレーによる)》1889~90



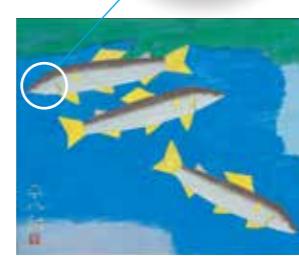
ゴッホの激しい筆あとを、きて・みて…



どちらも福田平八郎が描いた鮎。
でも雰囲気が違うのはなぜだろう?



福田平八郎《鮎》1950



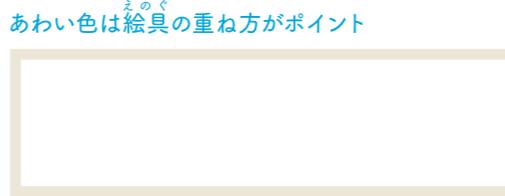
えのぐ
あわい色は絵具の重ね方がポイント



画家の筆あとをみる!



クロード・モネ《チャーリング・クロス橋》1899



日本画で使うもの
これはなんだ?

